

いま、鉄道のない富里から 鉄道への想いを紡ぐ

北総の軽便鉄道～多古線 八街・富里支線～

“幻の軽便鉄道を探ってみると!!”



2024年9月3日(火)～9月25日(水)

イベント

展示期間中
いつでも参加
できます!

ぬりえ

電車のぬりえをしてみよう!
作品は後日、末廣農場に
掲示いたします。

7[±] 14[±]
14:30～

軽便鉄道の
紙芝居

日時に変更になる場合がございます。その際は、館内掲示及び
SNSでご案内します。

軽便鉄道にまつわる紙芝居を
お楽しみください。

7[±] 14[±]
15:00～

走る模型を
見てみよう!

日時に変更になる場合がございます。その際は、館内掲示及び
SNSでご案内します。

N・HOゲージ車両の模型
が走るところをお楽しみく
ださい。

とみらいテラス
TOMIRAI TERRACE

開館日 火・水・木 9:30～18:00
金 9:30～19:00
土・日・祝 9:30～17:00

イベント期間中 17(火)
休館日 24(火)

〒286-0221 千葉県富里市七栄 653-1
<https://www.library.tomisato.chiba.jp/>

TEL:0476-90-4646 FAX:0476-90-4645

富里を駆け抜けた小さな鉄道

— 幻の千葉県営鉄道 —

鉄道、それは日常の移動手段はもとより、人々の暮らしを支え、地域特性を感じ、旅情をかきたてる存在でもあります。今から110年前の大正3年(1914年)、ここ富里に鉄道が開通し、同時に「富里駅」も開業しました。その鉄道とは「千葉県営鉄道」、昭和2年からは「成田鉄道八街支線」です。



— 富里で力転するガ201 1937.10.3 写真 橋本邦次



この鉄道は、当時の千葉県知事有吉忠一の発案で、習志野にあった陸軍鉄道連隊が千葉県内で訓練のため敷いた線路、車両などを引き継ぎ、継続して活用してもらうことを千葉県が陸軍と交渉した結果、千葉県営鉄道として開業しました。

成田を起点として、三里塚、多古、八日市場、富里、八街などの千葉県北総地域を結ぶ線路で、当時日本全国の地方鉄道で多く採用されていた、線路の幅600ミリの通称「軽便鉄道」と呼ばれる小さな鉄道でした。(後に成田～三里塚～八日市場間は在来線と同じ線路幅1067ミリになりました)



上り坂では息切れするような列車が、春には桜咲く御料牧場を、たなびく煙と汽笛とともに、のんびりと走る風景がありました。しかしながらこれらの鉄道網は、昭和19年(1944年)に戦争のため全廃となり、失われた風景として一部の人々によって語り継がれているだけとなってしまいました。

今回の展示は、当時の軽便鉄道を中心とした北総地域の風景、歴史等を、写真やパネルによる展示、あるいは富里駅、三里塚駅のジオラマ、当時の車両の模型などをおして紹介します。

また、お楽しみ企画として、Nゲージ、HOゲージの運転壮行会、軽便鉄道紙芝居、鉄道塗り絵、さらに国鉄時代のペーパークラフト製の鉄道模型展示、北総地域の鉄道の現在、など盛りたくさんです。

鉄道も駅もない富里市ですが、この展示会で日本の一時代を築いた鉄道の歴史、文化の一端が、富里にも息づいていたことを想い、感じていただければ幸いです。

軽便鉄道を考える会 in 富里